

(別添 3)

最終年度において結論する。

F. 研究論文発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

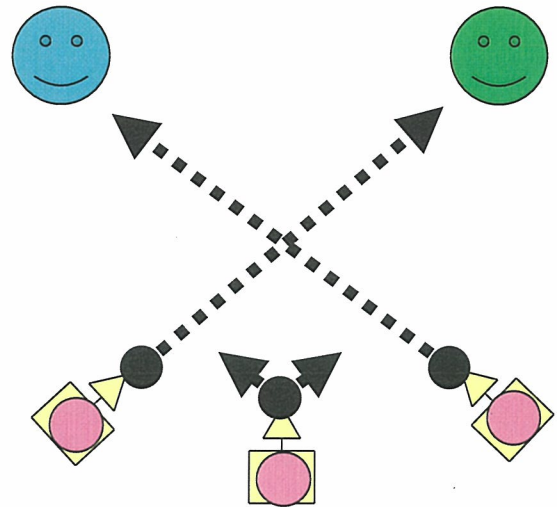
G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案特許
3. その他 なし

表1 手話収録に協力いただいたろう者

80代	3名
70代	9名
60代	8名
合計	20名

表2 手話収録におけるビデオカメラの位置



(別添 3)

3. データベースの作成に関する研究

厚生科学研究費補助金（感覚器障害研究事業） 分担研究報告書

データベースの作成

分担研究者：森本行雄 聴力障害者情報文化センター
聴覚障害者情報提供施設所長

研究要旨

手話言語には、日本語のような音声言語と同様に、地域による違いや年代による大きな違いがあることが知られている。しかし、これまでわが国において、地域や世代による違いについては、いくつかの地域で手話の収集を実施することが試みられたりしているだけで、総合的な研究は実施されてこなかった。そこで、本研究では、日本各地の地域や年代による手話表現の違いを明らかにすることを目的とする。本研究では、東京地域と京都地域の2箇所で、年代や地域による手話表現の違いに関する研究が進行している。これらの結果を手話言語学習者に活用できるよう、取り扱いが簡便で、顔の表情などの微細な手話表現がみやすい画像データベースの形式でまとめ、それらを収容したDVDを作成し、配布する。

A. 研究目的

手話言語には、日本語のような音声言語と同様に、地域による違いや年代による大きな違いがあることが知られている。しかし、これまでわが国において、地域や世代による違いについては、いくつかの地域で手話の収集を実施することが試みられたりしているだけで、総合的な研究は実施されてこなかった。そこで、本研究では、日本各地の地域や年代による手話表現の違いを明らかにすることを目的とする。本研究では、東京地域と京都地域の2箇所で、年代や地域による手話表現の違いに関する研究が進行している。これらの結果を手話言語学習者に活用できるよう、取り扱いが簡便で、顔の表情などの微細な手話表現がみやすい画像データベースの形式でまとめ、それらを収容したDVDを作成し、配布する。今年度は、研究の進捗状況を眺めながら、データベース構築のための準備を開始した。

B. 研究方法

以前実施した「日本手話学習のための基本語彙を中心とした日本手話-日本語辞書の作成」（平成11～13年度厚生科学研究費補助金（感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業（感覚器障害研究分野））の研究で、手話言語電子辞書が作製した。本研究の主任研究者である福田は、高齢者とう若い若者の使用する手話言語の違いがわかるような手話言語データベースの作製を計画しているが、これには、平成11～13年度の研究で作製したデータベースプログラムを、多少修正して利用できるのでは活用していく。平成19年度に東京地域と京都地域の手話言語の違いを明らかにしていく予定だが、この違いを載せたデータベースも、同様に、平成11～13年度の研究で作製したデータベースプログラムを、多少修正して利用できるのでは活用していく。

一方、大杉は、京都地域の高齢者との対話の

(別添 3)

ビデオそのものを、高齢ろう者の手話学習の教材として利用していくことを検討している。そのため、対話のビデオそのものを DVD に録画する計画である。

C. 結果と考察

手話言語データベースのフローチャートを図 1 に示した。検索の流れは、基本的に、平成 11～13 年度の研究で作成した電子辞書と同じである。ただし、今回の研究で明らかにする予定である ①年代の違い ②地域の違い についてインデックスを設けるとともに、説明画面で学習者にわかりやすくするための詳しい説明をつけ加える。図 2 に検索のための画面を、図 3 に説明画面の例をのせた。平成 19 年度は、高齢ろう者に特有の手話言語表現や京都地域の手話表現などについては、あらたに手話表現のビデオ動画ファイルを作成していく予定でいる。データベースの動作環境は、① PC 本体：AT 互換機 ② OS：Windows XP, Windows VISTA, ③ メモリ：128MB 以上 ④ CPU：Pentium III 以上、Pentium IV 推奨 の予定。

D. 結論

手話言語の地域や世代の違いを見ることができると手話動画のデータベースを作成するためのデータベースの構造について、東京地区と京都地区の研究の進捗状況を考慮にいれながら、計画した。検索の流れは、基本的に、平成 11～13 年度の研究で作成した電子辞書と同じにする。ただし、今回の研究で明らかにする予定である ①年代の違い ②地域の違い についてインデックスを設けるとともに、説明画面で学習者にわかりやすくするための詳しい説明をつく加える。

E. 研究論文発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

F. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案特許
3. その他 なし

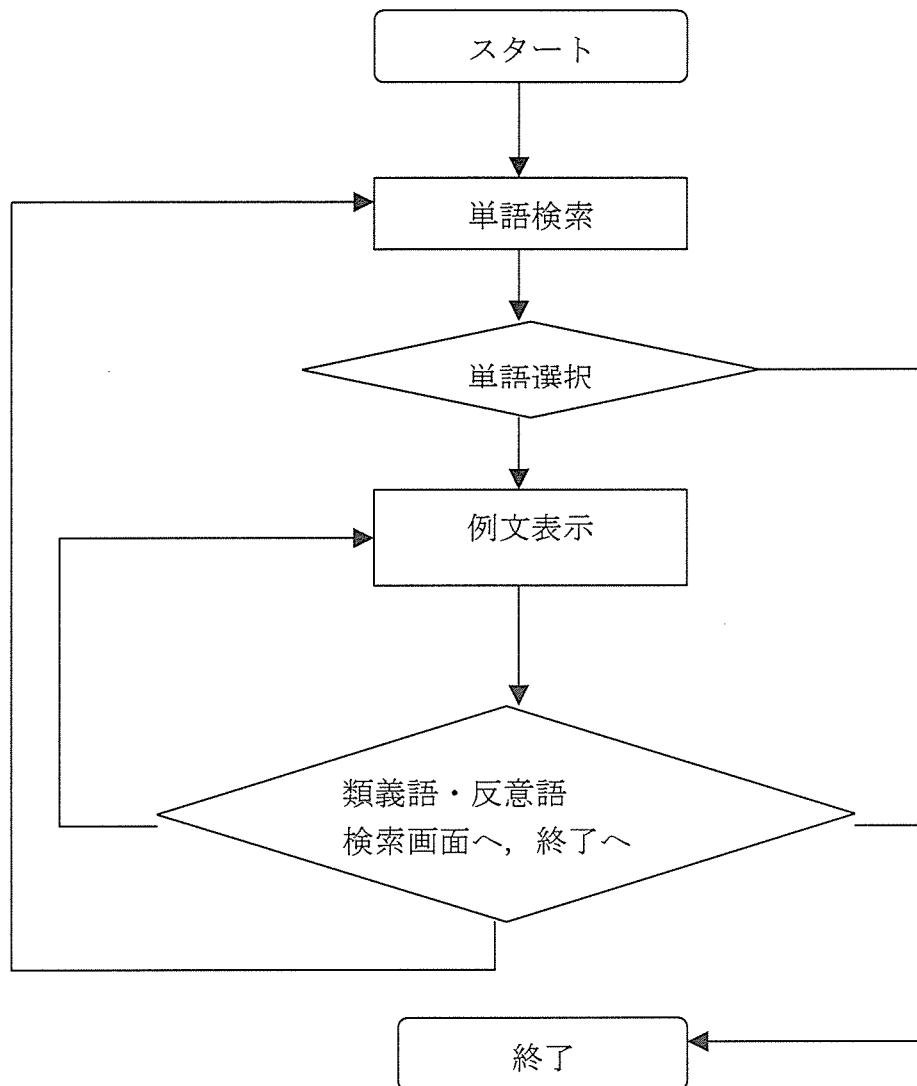


図1. 電子辞書の流れ

(別添 3)

図2. 検索のための画面

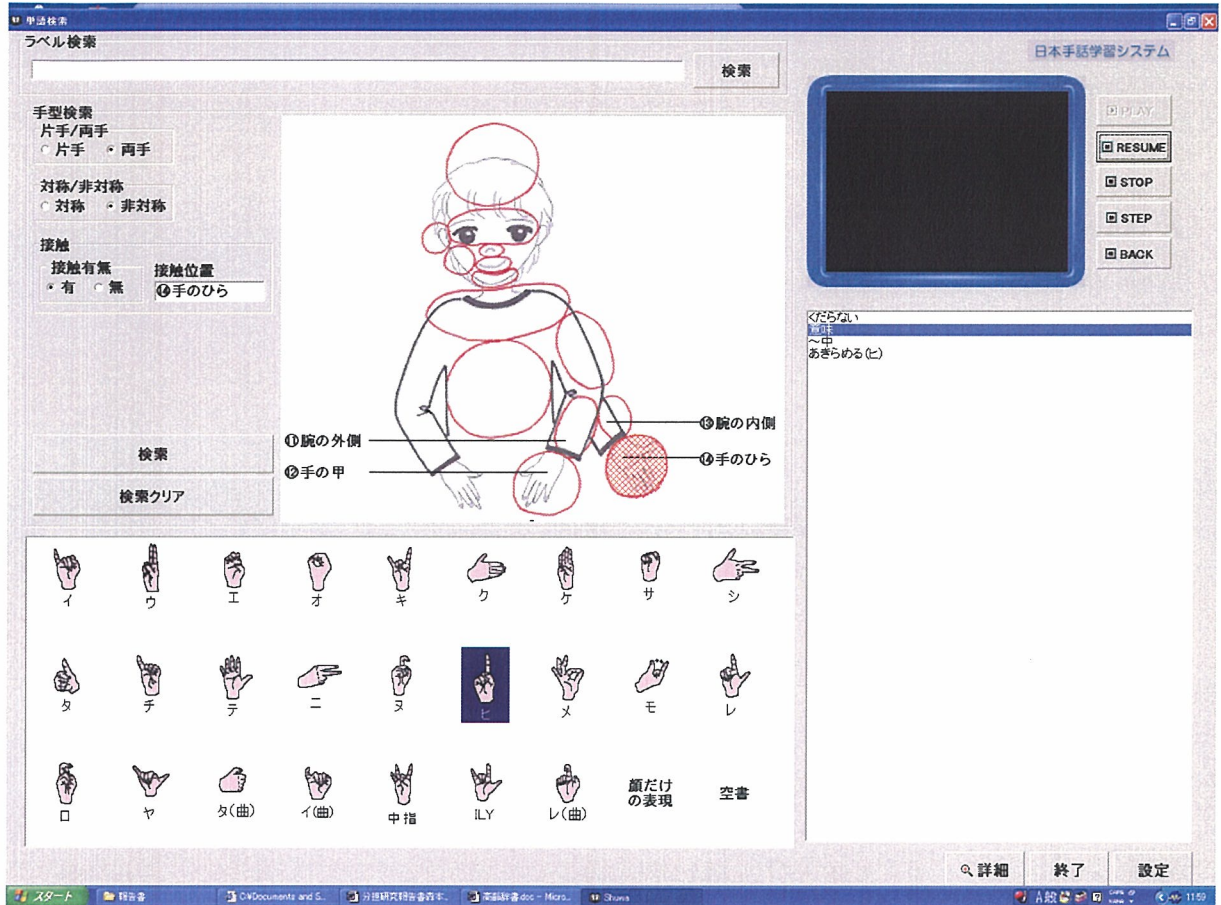


図 3. 説明画面の例

The image displays two screenshots of a software interface for sign language learning. The top screenshot shows a woman demonstrating a hand gesture, and the bottom screenshot shows an older man demonstrating the same gesture. Both screens display Japanese text, including a '基本情報' (Basic Information) section, a '解説' (Explanation) section with a video player, and a '例' (Example) section with a table of sign language symbols and their corresponding Japanese text.

基本情報

ラベル: 意味
手型: ヒ
両手手話 非対称
接触: あり 接触位置: 1 4

解説

ハローがアメリカ手話なら音韻が違う。
[2] 「～だから」、「～なので」(文末におかれる)
文末の/意味/の使用法はない、NMSで表す。
文末の/意味/は40歳以下が使う? 15年くらい前から使われるようになった?
例4

語	語	語	注or料
過去	～から	アメリカ	留学
		好き	PT-1
		金	貯まる(少)
		飛行機	意味
			上

マエ かり アリカ ヲウガク キホウ オカネ ー バ イ

訳:かねてからアメリカに留学したいと思っており、お金が貯まったので渡米したのです。
注:「～だから」、「～なので」の意味、文末におかれることが多い、この文例のように文末に/意味/がきた場合、左手の動きは消失し、必ず右手の手型「ヒ」だけの片手手話になる。
例4-高齢者F M

PT-1 過去 ～から アメリカ PT-3 勉強 あこがれ お金 貯まる(少) やっと 飛行機 PT-1

訳:かねてからアメリカに留学したいと思っており、お金が貯まったので渡米したのです。
注:例4と同じ内容、文末の/意味/は使わずに表現。
例4-高齢者M

過去 ～から アメリカ 場所 勉強 PT-1 好き あこがれ 仕事 貯まる(少) 成功(下) 飛行機 ～した やっと

例5

前→異	語	異→後
PT-3	交際	ダイエット
	ル	男
	成功	意味
		PT-3

トゼン ヤセ ポ イ

例

例4

語	語	語	注or料
過去	～から	アメリカ	留学
		好き	PT-1
		金	貯まる(少)
		飛行機	意味
			上

マエ かり アリカ ヲウガク キホウ オカネ ー バ イ

訳:かねてからアメリカに留学したいと思っており、お金が貯まったので渡米したのです。
注:「～だから」、「～なので」の意味、文末におかれることが多い、この文例のように文末に/意味/がきた場合、左手の動きは消失し、必ず右手の手型「ヒ」だけの片手手話になる。
例4-高齢者F M

PT-1 過去 ～から アメリカ PT-3 勉強 あこがれ お金 貯まる(少) やっと 飛行機 PT-1

訳:かねてからアメリカに留学したいと思っており、お金が貯まったので渡米したのです。
注:例4と同じ内容、文末の/意味/は使わずに表現。
例4-高齢者M

過去 ～から アメリカ 場所 勉強 PT-1 好き あこがれ 仕事 貯まる(少) 成功(下) 飛行機 ～した やっと

例5

前→異	語	異→後
PT-3	交際	ダイエット
	ル	男
	成功	意味
		PT-3

トゼン ヤセ ポ イ

別紙 4

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍 なし

雑誌 なし

IV. 研究成果の刊行物・別刷 なし